

## 機械工学専攻

### 人材養成および教育研究上の目的

---

機械工学専攻においては、工学の開発・研究の分野で貢献するため、機械工学における幅広い知識と総合的視野を持ち、論理的思考及び総合的応用能力を有する人材を育成することを目的とする。

### 三つのポリシー

---

#### ❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本専攻では、将来、機械工学関連の企業等で開発・研究に携わる目標を持っている人、あるいは大学等の研究者を指向する人を対象とする教育を目指す。したがって、①機械工学分野の高度な専門技術者・研究者を目指す意欲・熱意にあふれる人、②機械工学に関する基礎的な知識・技能を有している人、③機械工学の研究を行うために必要な応用力と創造性に富む人、を求めている。入学試験では、機械工学の主要科目（材料力学、流体工学、熱工学、機械設計・工作法、機械力学・制御）と英語の筆記試験、および面接によって基礎学力と意欲・適性を判定する。

#### ❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本専攻は、材料力学、流体工学、熱工学、機械設計・工作法、機械力学・制御の5専修部門から構成されている。機械工学分野の高度な技術者・研究者として不可欠な知識を幅広く修得するために、学生は全専修部門の専門科目、および他の専攻や研究科の教員が提供する非専修科目を履修する。これらの授業科目の学修成果は試験、レポート、演習、等にて評価する。また、学生は特別研究を行う専修部門を自ら選択し、指導教員から専門分野の先端的な知識や高度な専門技術を修得しながら修士論文を完成させる。その過程を通じて、応用力、創造性、課題設定・問題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、等を涵養する。

#### ❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本専攻では、工学の開発・研究の分野で貢献するため、機械工学における幅広い知識と総合的視野を持ち、論理的思考および総合的応用能力を有する人材を育成することを教育理念・目的とする。修了にあたっては、単位取得状況により、機械工学分野の高度な専門技術者・研究者として不可欠な知識・技能を幅広く修得しているかを確認する。さらに、修士論文の内容および公聴会におけるプレゼンテーション、質疑応答によって応用力や





創造性、課題設定・問題解決能力、等を十分に獲得しているかを総合的に判断する。学位  
規程に基づき、合格者には学位を授与する。

